

立命館大学国際地域研究所は1989年に設立され、爾来、世界経済の持続的な経済発展や国際社会の恒久的な平和構築を図るうえで重要な諸問題に関し、学際的な視点から研究を重ねてきました。

特に、21世紀に入ってから世界的にも目覚ましい成長を続ける東アジアに的を絞り、積極的な研究活動を展開してきた結果、アジア研究の拠点として内外から高い評価を受けるに至っております。今後とも、地域研究における理論的な深化と発展を図ると共に、地道な実態分析をベースにした解決策の提示に努め、研究所の成果として広く発信してまいります。

### 主な研究テーマ

- 日米中トライアングルの国際政治経済構造—膨張する中国と日米—
- 英国学派とポスト西洋型国際関係理論に関する批判的検討
- 20世紀国際関係史の中の「冷戦」の境界—冷戦史再検討の試み—
- 東日本大震災後の日本経済の課題と展望—成長から適応へ—
- 東アジアにおける人身取引と法制度・運用実態の総合的研究
- ASEAN・Divideの克服とメコン川地域開発
- 欧州統合とマルチレベル・ガバナンスの学際的研究

### 研究所としての実績

#### 最近の研究成果

- 大久保史郎・Louise Shelley編著  
『Human Security, Transnational Crime and Human Trafficking: Asian and Western perspectives』  
(2011年、Routledge)
- 申栄錫著／中戸祐夫・李虎男訳『韓国歴代政権の統一政策変遷史』(2011年、明石書店)
- 関下稔・中川涼司編著  
『知識資本の国際政治経済学—知財・情報・ビジネスモデルのグローバルダイナミズム』  
(2010年、同友館)
- マーティン・ワイト著／佐藤誠・安藤次男他訳  
『国際理論—三つの伝統—』(2007年、日本経済評論社)

#### シンポジウム

- 2011年 7月 第5回東アジア専門家会議「東北アジア地域協力と中朝関係」
- 2011年 3月 立命館大学・廈門大学共同セミナー「GMSをめぐる日本と中国」
- 2010年11月 立命館創始140年・学園創立110周年記念「グローバル危機後の新たな東アジア構築」
- 2010年 3月 国際シンポジウム「岐路に立つ国際関係理論—西洋／非西洋的視点からの新構想」
- 2010年 1月 外務省平成21年度日中研究交流支援事業「21世紀における新たな日中関係—現状と課題」

所長

高橋 伸彰 (国際関係学部・教授)

主な研究拠点

立命館大学 (衣笠キャンパス) 国際地域研究所

お問合せ先

立命館大学 研究部 リサーチオフィス(衣笠)内 国際地域研究所事務局

TEL : 075-465-8244 FAX : 075-465-8245 E-mail : kokuchi@st.ritsumeikan.ac.jp  
URL : [http://www.ritsumeikan.ac.jp/acd/re/k-rsc/ras/ras\\_index.htm](http://www.ritsumeikan.ac.jp/acd/re/k-rsc/ras/ras_index.htm)